

# 平成20年度当初予算の概要をお知らせします

# 一般会計予算38億3600万円

平成20年度一般会計予算の総額は38億3600万円で、前年度当初予算対比1.67%、6300万円の増額となりました。

増額となった主な要因は、小野中学校改築事業関連予算の計上、乳幼児医療費助成の現物給付・小学6年生までの入院時医療費助成、妊婦健診の公費負担の拡充のほか、各種事業の内容拡充等によるものです。

## ○予算編成の

### 基本的考え方

平成20年度当初予算については、国の構造改革の影響により引き続き厳しい財政状況にあり、限られた財源をより効率的、効果的に配分するため、既存事業の必要性、重要性、緊急性等を検証し、併せて歳出の徹底した見直しを行いました。また、中・長期的財政見通しに基づきながら、

町政の基本目標である「定住と交流と快適環境のまちづくり」実現を目指し、昨年度に引き続き「人口の増加」につながる施策として「子育て、子育てしやすいまちづくり」、「活力あるまちづくり」、「安全、安心、健康のまちづくり」の事業予算を優先に配分するとともに、「笑顔とがんばり行革大綱」の基本方針に沿って予算を編成しました。

また、基金取崩しについては、起債の一括繰上償還を予定していることから、その財源を減債基金から繰入れることで対応し、財源不足を調整することを目的に取崩していた財政調整基金は当初予算段階での取崩しは行わず、収支均衡型の予算となりました。

## ●歳入

一般会計における歳入予算のうち、町税において、前年度比3.0%、3013万円の増を見込み、本町の重要な財源である地方交付税においては、新たに地域再生対策費（特別枠）が創設されることや平成20年度地方財政計画などから、前年度比6.2%、9800万円の増を見込みました。

また、基金取崩しについては、起債の一括繰上償還を予定していることから、その財源を減債基金から繰入れることで対応し、財源不足を調整することを目的に取崩していた財政調整基金は当初予算段階での取崩しは行わず、収支均衡型の予算となりました。

## ●歳出

町民サービスの維持、向上に支出する一般会計の歳出は、土木費において、町道七生根線整備事業費等の増加により前年度比15.2%の増、教育費で小野中学校改築事業関連予算の計上により前年度比

## 主な投資的事業（100万以上）

一般会計 (単位 千円)

事業名	事業費
庁舎管理事業(屋根塗装)	1,500
企業誘致推進事業(工業用地補修)	3,500
合併処理浄化槽設置事業	18,906
農業用施設維持管理事業	3,200
県営土地改良事業(農道整備)	4,740
基盤整備促進事業(農道整備)	6,000
観光事業(登山道整備)	2,030
急傾斜地崩壊対策事業	10,000
町道・生活道路維持事業	21,000
町道改良・舗装新設事業	16,250
公共道路整備事業	111,884
河川整備事業	7,311
公営住宅管理事業	4,151
消防施設・機械器具整備事業	4,836
小野中学校建設事業	31,139
過年災公共土木施設災害復旧事業	30,802
過年災農業施設災害復旧事業	6,010

水道事業会計 (単位 千円)

事業名	事業費
石綿セメント管更新事業	5,595

町民一人あたりの予算(一般会計)  
平成20年1月1日現在  
12,068人(住基人口)

	町民一人あたりの予算額(円)
民生費	71,834
公債費	56,054
衛生費	44,047
教育費	38,603
総務費	37,464
消防費	21,705
土木費	21,423
農林水産業費	11,641
議会費	7,195
災害復旧費	3,051
予備費	2,627
商工費	2,108
労働費	89
諸支出費	24
合計	317,865

10.3%の増のほか、公債費において高金利起債の繰上償還により増加となりました。また、減額では災害復旧費において前年度比51.1%の大幅な減少となりました。

別予算額の増減の大きな要因となっており、※特別会計の予算総額は別表のとおりです。なお、平成20年度より新たな高齢者医療制度創設に基づき後期高齢者医療特別会計を設置しました。